

令和4年9月13日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第二部会第1回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の令和4年度第二部会第1回定例会議が、令和4年7月25日(月)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第二部会第1回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台市青葉区本町3丁目3番1号

TEL (022) 716-0013 (ダイヤル)

契 約 管 理 官 鈴 木 守 (内線6221)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 審議概要

開催日及び場所	令和4年7月25日（月） 東北地方整備局 会議室	
委員	部会長 小出 英夫 【（学）東北工業大学 工学部 教授】 部会長代理 砂田 洋志 【（国）山形大学 人文社会科学部 教授】 委員 真田 昌行 【弁護士】	
審議対象期間	令和3年10月1日 ～ 令和4年3月31日 （上記期間に契約締結した案件を審議）	
審議案件	総件数 6件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）	
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	1件
	工事希望型競争入札	0件
	指名競争入札	0件
	随意契約	1件
	建設コンサルタント業務等	1件
	役務の提供等及び物品の製造等	2件
	（備考） ・審議に先立ち、下記(1)～(8)について、報告が行われました。 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。	

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁（－14m）上部外工事	港湾土木工事	6者	6者	R4.3.28	五洋・みらい特定建設工事共同企業体	947,342	91.28	塩釜港空

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	久慈港湾口地区防波堤本体工事（その4）	港湾土木工事	4者	4者	R4.3.30	東洋建設（株）	412,698	90.61	釜石港湾

入札方式	工 事 名	工事種別			契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
随意契約方式	相馬港3号ふ頭岸壁（－12m）（耐震）応急復旧工事	港湾土木工事			R4.3.18	五洋建設（株）	10,340	97.30	小名浜港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型プロポーザル方式	港湾におけるトラック自動運転技術活用の安全性検証業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R3.12.21	(株)フォーラムエイト	47,916	99.70	港湾空港部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	秋田港湾事務所強震観測装置取替	役務の提供等	2者	2者	R3.10.1	川崎地質（株）	7,150	60.18	秋田港湾
一般競争入札方式	久慈港港湾業務艇「くろがね」中間検査修理	役務の提供等	2者	2者	R3.12.20	(有)釜石造船所	10,120	99.89	仙台技調

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・資料について、各契約の一覧表があるがこちらは様式等定まっているものか。 ・応札者が1者の契約が見受けられるが、入札時期をずらす等工夫して入札者を増やす努力はできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札監視委員会の規則に定めのある所定の様式となっております。 ・参加者数を増やすため発注時期をずらす等の方策も考えられますが、企業によって抱える技術者数も異なっており、また自治体等の発注事業を請負った場合は技術者がそちらに配置されるため、当局工事への参加を見送るなど企業の受注状況にもより状況が変わっているものと考えられます。

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 仙台塩釜港仙台区向洋地区岸壁（－14m）上部外工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・契約額が8億円を超える工事でありながら各応札者における入札額の最高値と最安値の差が34万円近くあり、最安値については調査基準価格と同額で3者が応札しているがどのような理由が考えられるか。 ・加算点はどのように算定しているのか。 ・上記の点を踏まえると、入札価格にほぼ違いがなければ、加算点の点数で評価が分かれるということか。 ・工事の要件として作業船を使用することが必要とされているが、本件工事の場合は裏込材の投入や均しのため作業船が必要ということなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準、見積参考資料、過去の同種工事の積算内訳書が公表されており、各応札者において精度の高い積算が可能であったと推測しております。また、工事規模が大きいことから受注意欲の表れとして、調査基準価格ラインに応札額が集中したものと推察されます。 ・施工計画の中で施工上配慮すべきテーマを設定しております。その中で評価基準として①現場条件の理解度、②作業方法や形態の確実性、③各種取組における創意工夫、④内容に法令違反の記載有無といった観点から総合的に判断して加算点を算定しております。 ・そうなるかと推測しております。 ・作業の手順としては、作業船で裏込石を運搬し、ケーソンの前側に停泊させた後、ケーソンの背後に投入しており、投入後の水中での均しは潜水士が行う作業形態となっております。
2 久慈港湾口地区防波堤本体工事（その4）	
<ul style="list-style-type: none"> ・応札者はなぜ調査基準価格に近い金額で応札が可能なのか ・調査基準価格が予定価格の何パーセントになるのか応札者の方で推測できるのか。 ・上記を踏まえると、応札者は公表されている情報を基に自信をもって予定価格を積算し、明確に算定方法の示されている調査基準価格を算定したうえで入札価格を決めて応札しているという理解でよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準、見積参考資料、過去の同種工事の積算内訳書が公表されており、各応札者において精度の高い積算が可能となっていることから、調査基準価格（予定価格）が推測されたものと思われます。 ・応札者に配布する入札説明書の別紙に調査基準価格に関する項目があり、そちらに具体的なパーセンテージを明示しております。 ・そのように推測しております。

<p>3 相馬港3号ふ頭岸壁（－1.2m）（耐震）応急復旧工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地震によって岸壁が沈下したため、仮設通路を作るため、沈下部分に土砂を均したうえで敷鉄板を敷いたという作業の理解でよろしいか。 ・随意契約で落札率が97.30%となっているが応急工事であったため落札率が高かったという捉え方でよろしいか。 <p>契約相手方を決めた理由として、包括協定書に基づいて可能な会員の報告を受けて決定したとあるが、このように（災害時は）対応可能な会員を紹介してもらったうえで契約相手方を決めるのが一般的な方法なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括協定書に基づいて対応可能な企業を紹介される場合は、1者に絞られるのか、複数者紹介されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・そういう点もありますが、工事内容が単一的なものであったことも一つの要因と考えております。 ・災害が発生し緊急に工事が必要な場合は包括協定書に基づいて（対応可能な会員の）紹介を受けて対応するのが一般的であると認識しております。 ・全国の地方整備局で包括協定書を締結しておりますが、災害の大きさの程度によります。1者で到底対応出来ないような場合はエリアを分けて複数者紹介される場合もありますし、現地の業者が対応した方が早い時もあるのでそちらを紹介される場合もあります。
<p>4 港湾におけるトラック自動運転技術活用の安全性検証業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の概要としてはトラックの自動運転を実車させる前にVRにてシミュレーションを行うという内容なのか。 ・貴局として参加者の候補を10者想定していたが、結局参加は1者のみだったということか。 ・見積りについて、通常事例のない発注なので見積もりを実施したのか。 ・見積もりをしたところが契約相手方になったということか。 ・確認だが、見積もりは貴局で積算が難しい業務の一部についてお願いしたという理解でよいか。 ・契約相手方は想定していた候補10者に入っていたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・そのとおりです。 ・そのとおりです。 ・そのとおりです。 ・そのとおりです。当局で積算可能な箇所は当局で算出し、算出が困難な箇所は見積もりをお願いしております。 ・同種業務実績シミュレーション結果では、契約相手方は含まれていないことを確認しております。

5 秋田港湾事務所強震観測装置取替

・落札率が6割となっているが、予定価格の算定の方法は、あらかじめ複数者から見積りをもって算出していると思うが、契約相手方から見積りももらっているのか。

・上記の回答を踏まえると、機器の価格以外の部分については、国交省で積算基準の定めがあり、機器については積算に関する定めがないので実勢価格調査を行い、その結果を基にして予定価格を算出しているということでしょうか。

・落札率が6割となっているが、品質に問題は無いのか。

・市場価格調査をする際は、入札に参加が想定される業者へヒアリングしないものなのか。

・予定価格の算定について、国交省で土木工事標準積算基準にて電気通信編の中で強震計の設置工事をを用いて算定しております。
また、本契約では設置する機器の価格が多くを占めておりますが、こちらについては（一財）建設物価調査会に実勢価格調査を発注し価格を調査しております。
以上の標準積算基準及び機器の実勢価格調査の結果から予定価格を算出しております。

・はい。機器については実勢価格調査を行い算出しており、その他の設置費用等につきましては、積算基準を用いて算出しております。

・実際に当局職員立会の下で機器の総合試験を行い性能を確認しております。
また、設置直後に発生した福島県沖の地震において問題なく観測されていることも確認しております。

・今回対象となっている強震計は、仕様が一般化されたもので市場性があると認識しております。その場合、市場価格に精通した第三者に依頼し価格調査を行うのが一般的な手法となっており、本件も同様にしております。

6 久慈港港湾業務艇「くろがね」中間検査修理

・想定が10者いたにも関わらず、応札が2者で予定価格内の応札は1者のみとなっているが、応札者数を増やす工夫はできなかったのか。

・高落札率となった原因はどのように考えているか。

・今回の発注にあたっては、作業場所に関する要件を設定しないこと、競争参加資格の種類及び等級を拡大することで入札参加者の要件を緩和し、応札者を増やせるよう努めております。

・入札参加者にも聞き取りを行ったところ自社の積算基準及び過去の受注を考慮し積算したとの回答を得ております。